

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2023

競技会概要

- 1 競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2023
- 2 開催趣旨 全国の連盟登録ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラー達が一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合いながらその向上を図るとともに、海外チームとの交流により国内ジュニアセーラー達が国際感覚を磨きその視野をひろげ、また地元地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙・普及させて、生涯スポーツとしてのヨットの発展に貢献することであり、また世界各国のジュニアセーラー・指導者を招待して、日本全国のジュニアセーラー達がこの交流試合を通して世界レベルの選手に成長する機会となることを期待します。
- 3 主 催 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下 JJYU と云う）
和歌山県セーリング連盟（共同主催者）
- 4 後 援 スポーツ庁 国土交通省
和歌山県 和歌山県教育委員会 公益社団法人和歌山県体育協会
和歌山市 和歌山市教育委員会 和歌山市体育協会
公益財団法人日本セーリング連盟（以下 JSAF と云う）（承認番号 2023-9）
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団（以下 YMFS と云う）
一般社団法人日本オプティミストディンギー協会（以下 OP 協会と云う）
一般社団法人日本レーザークラス協会 株式会社舵社
- 5 協 賛 アサヒ飲料株式会社

ヤマハ発動機株式会社 株式会社フォーチュン
- 6 協 力 特定非営利活動法人和歌山セーリングクラブ
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2023 参加クラブ指導者・保護者
- 7 運 営 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2023 実行委員会

8 競技会役員

会長 : 石原伸晃 JJYU 会長
副会長 : 伊藤雅宣 JJYU 副会長
副会長 : 中井國雄 和歌山県セーリング連盟会長
名誉顧問 : 馬場益弘 JSAF 会長
委員長 : 塩野崎英二 JJYU 専務理事
副委員長 : 山口 慶一 和歌山セーリングクラブ理事長

9 期 日 2023年7月21日(金)・22日(土)・23日(日)の3日間(気象条件により変更有)

10 行事日程

競技会受付 : 7月21日 08:00~12:00
練習会 09:00~15:00
開会式 16:30~17:00
安全講習会 17:10~17:30
競技運営説明会 17:30~18:00
国際交流会 18:00~19:00
競技会第1日目 : 7月22日 09:30~
競技会第2日目 : 7月23日 09:30~13:00
閉会式 16:00~17:00

11 会 場

和歌山セーリングセンター
〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見 1514
連絡先 : 073-448-0251 (和歌山セーリングクラブ事務局)
開会式・国際交流会・閉会式会場 : 和歌山セーリングセンター内
競技海面 : 和歌浦湾沖

12 競技種目 OP級初級者クラス OP級上級者クラス ILCA 4

13 競技内容

- (1) 種目別個人対抗レース
- ① 国内ジュニアヨット種目別個人対抗レース
 - ② 国際交流ジュニアヨット種目別個人対抗レース
- (2) ジュニアヨットクラブ対抗レース
- ① 国内ジュニアヨットクラブ対抗レース
 - ② 国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース

14 留意事項

- ※ 本競技会は選手を教育・指導する目的を有するものですから、その所属するクラブの指導者・保護者が競技会及びレース運営について意見や疑義を申し立てる場合は、参加申込みをした指導者・保護者のうち、あらかじめ届けのあった指導者代表者1名に限定されるものとします。
- ※ 本競技会は選手の安全を第一とするために、出艇及び帰着申告については、その所属するクラブの指導者・保護者が自分のクラブの全選手について責任を持つこととします。
- ※ 競技会参加者は自らスポーツ傷害保険及び損害賠償責任保険に加入して下さい。
- ※ 競技会参加者は健康保険証（カードまたはコピー）を持参して下さい。
マイナンバーカードでも可です。
- ※ 熱中症予防のため、帽子・パラソル・テント等の日除け及び飲料水を用意して下さい。

15 障がい者への対応

和歌山セーリングセンターには車いす対応のトイレが設置されています。乗艇される方のために車いす対応の栈橋が設置されています。障がい者の方の競技会参加に際しては対応運営員2名を陸上本部（受付）に配置して案内をさせていただきます。

16 肖像権について

参加者は本大会に参加することにより、大会期間中の選手又は本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真及び生中継、録画あるいは映像またはその製版について、対価を求めることなく、大会実行委員会・JJYU及び後援・協賛・協力各社に独自の判断で使用する権利を与えるものとします。

17 海洋プラスチックごみによる海洋汚染に対する対策

海洋を活動のベースとするヨットマンとして、海洋環境汚染の原因とされるマイクロプラスチック抑制に協力するため、例年水分補給のため配布してきましたペットボトルを制限することにしました。つきましては各自給水ボトル等の準備をお願いします。

18 本競技会のOP級上級者レースについて、日本オプティミストディンギー協会へ2023年全日本オプティミストディンギー級セーリング選手権大会出場枠付与の申請をしました。

19 新型コロナウイルス感染の拡大防止対策

- JSAF 経由のスポーツ庁発信のガイドラインに則って実施します。
- 当日の登録受付、チェックアウト・チェックインはLINE オープンチャットで行います。詳細はエントリー後にお知らせします。
- 密を避けながら国際交流会開催を予定しています。
- 会場では着替え等の時には密を避けるよう心掛けてください。
- 競技会関係者（選手・指導者・保護者・運営役員）は当日に体温測定をし、平温であれば参加可能とします。